

奈良県の経済動向の概要(令和2年7月)

別紙

統計分析課

奈良県の主要経済指標の動き(対前年同月比)

指標名	消費		生産	投資
	百貨店・スーパー 販売額【全店】	新車販売台数	鉱工業生産指数	新設住宅着工戸数
3月				
4月				
5月				
6月				
最新月の動き	▲6.8% 8か月連続の減少	▲22.2% 9か月連続の減少	▲6.0%【前月比】 2か月ぶりの減少	▲43.6% 2か月連続の減少

指標名	投資	金融	雇用	
	建築着工床面積	国内銀行貸出残高	有効求人倍率 【就業地別】	新規求人倍率 【就業地別】
3月				
4月				
5月				
最新月の動き	3か月後方移動平均 3か月連続の減少	3.5% 2か月連続の増加	▲0.10ポイント【前月比】 5か月連続の減少	0.31ポイント【前月比】 3か月ぶりの増加

	上昇		横ばい		低下
--	----	--	-----	--	----

(参考)各機関の景気基調判断(総括)

	前回公表分	最新公表分
奈良財務事務所 「奈良県内経済情勢報告」	県内経済は緩やかに回復しつつある。 【1月公表分】	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で急速に下押しされており、極めて厳しい状況にある。 【4月公表分】
内閣府 「地域経済動向」【近畿】	足もどでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、景況感が急速に厳しい状況になるなど、弱さがみられる。【3月公表分】	新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある。 【5月公表分】
近畿経済産業局 「管内経済動向」	悪化している。【6月公表分】	悪化した状態が続いている。【7月公表分】
日本銀行大阪支店 「関西金融経済動向」	関西の景気は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、悪化している。 【5月公表分】	関西の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、悪化した状態が続いている。 【7月公表分】
内閣府 「月例経済報告」【全国】	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて厳しい状況にあるが、下げ止まりつつある。【6月公表分】	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きがみられる。【7月公表分】